

《石の再利用》

書院裏手は自然の高低差が生じており、この土留^{どど}めは昭和の改修時に築かれた。使われている石は、3種に大別される。

1. 江戸時代の庭石～根府川石
2. 石垣補修用の石（間知^{けんちいし}石）～小松石
3. 醤油を絞る際の吊^{つりいし}石

他にも、屋敷林脇^{やしきりん}の孟宗竹^{もうそうだけ}付近の歩道には、吊石や間知石の他、醤油仕込^{しこみおけ}桶の敷石が敷かれている。

4種の石を見つけることが出来ましたか？

石の形状や質の違いに注目して探してみましよう。